

【2月10日（日）五島 福江島の協会巡りをしながら見つけた興味深いシーン】

13：00

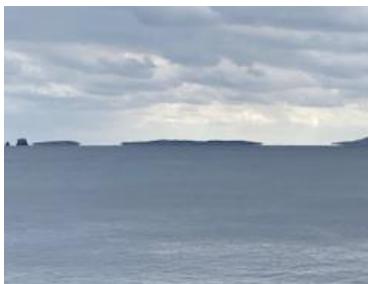
場所：溶岩海岸

海岸に向かう途中ですれ違った方から、「蜃気楼が見えるよ」と声を掛けて戴きました。

水平線に幾つかの島や岩が並んで浮いているような感じでしたが、海なし県に住む私は何が蜃気楼なのか確信が持てず。

海岸を離れて次の目的地に向かう途中で、改めて溶岩海岸を見下ろすと、並んでいたはずの島は影も形もありません。

あれは本当に蜃気楼だったのか！とビックリしました。



15：50

場所：淵ノ元カトリック墓碑群

三井楽教会を見学後、そばにあるらしい古い墓碑群を探しました。

レンタカーのナビでは所在が分からず、当てずっぽうに細い道を進んでいくと砂浜を見下ろす寂し気な場所に十字架の古い墓群を見つけました。

新しく建て替えられた墓と、風化した墓が混在して味わい深い景色でした。



18：30

場所：いけす居酒屋 心誠

どうしてもクエ鍋が食べたくて、予約した地元の居酒屋さんで夕食。肉厚にブツ切されたクエは、身が柔らかく脂ものり過ぎず、皮はゼラチン質でトロトロでした。締めを作って戴いた雑炊の美味しかったこと！

他にはアジの刺身、タコの天ぷらも戴きましたが、地元で食べる食材とは大違いでした。



【2月11日（月） 午前便のジェットフォイルに乗って長崎港に到着】

15:00

場所：軍艦島上陸ツアー

いよいよこの旅のメインイベント、軍艦島への上陸ツアーです。

天候次第でツアー参加日を調整するつもりで事前予約をせずにいたら、なんと予約は埋まってしまっていました。

自分の段取りの悪さに愕然としながら、サイトを片っ端から調べたら、ボトム席という当日限定の枠があり、軍艦島ミュージアム内受付のみで参加可能との事で、長崎港到着後すぐに受付をして、ツアー参加となりました。

素晴らしい晴天の下、ガイドさんの案内で上陸を果たし、懐かしい昭和の活気ある雰囲気を出しながら、今でも通用するような土木建築の技術の高さ、それでも住む人がいなくなって朽ちていく様子が、ある意味近未来だとのガイドさんの言葉が深かったです。

また、軍艦島ミュージアムの展示が素晴らしくて、特にドローン映像をヘッドセット装着で体験する「軍艦島VR」は、建物の中を縦横無尽に飛び回る臨場感が感動的でした。



18:00

場所：市内ランタンフェスティバルの様子

ランタンフェスティバルの終盤にして最後の休日、久しぶりの好天候で凄い人出となり、思う様に見て回る事は出来ませんでした。長崎市民の熱意を感じるお祭りでした。



21:00

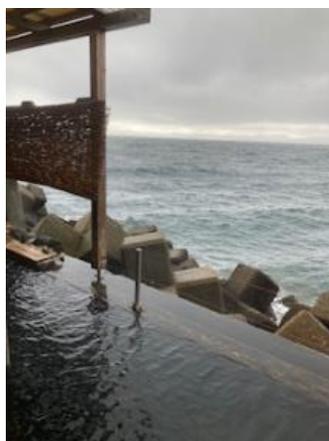
場所：ホテルからの夜景

宿泊したホテル室内からの夜景
この日はクルーズ船が港で停泊して
いました。



【2月12日（火） 雲仙方面にドライブ】

前日と打って変わり、雨が降り続く一日となりました。
雲仙温泉に向けてレンタカーを走らせ、
雲仙に到着するも深い霧に包まれて、観光どころではありません。
カフェで軽い昼食を戴きながら雨宿りし、一瞬小雨になった瞬間に
雲仙地獄を散策しましたが、じきに雨脚が強くなり退散、
雲仙地獄は一応体験したと言えるかな？



15:00

場所：小浜町 家族風呂 茜

次は雲仙西側の海岸線にある、「茜」という日帰り温泉へ。眼下に広がる海を眺めながら湯船に浸かっていると、強い波飛沫が浴槽にまで届くワイルドな温泉でした。

<感想>

今回、思いがけないプレゼントを戴き、暫く会えていなかった実家の母に声を掛けて、長崎旅行を計画しました。旅行の計画を立てる時間が大好きな私、後期高齢者の母親に無理をさせずに、でも効率よく観光できる二泊三日の旅程を練りに練りました。

旅行中、並んで歩く母の横顔を眺めると、思っていた以上に年老いた様子に驚きました。

そう言えば、母と二人旅は初めて。

今まで育児や仕事に追われて、母とゆっくりと遠出した事はありませんでした。

今後二人っきりで元気に旅行できるチャンスって、実はそんなに無いかも知れないなぁと切ない気持ちにもなりました。

会社の業務やペットの世話など自分がやらなければと

思い込んでいた仕事を周囲にお願いして、思い切って旅行する事が出来て本当に良かったです。

そして、そのきっかけをプレゼントして下さったセントレア様には感謝申し上げます。